
まごいる

片耳難聴のコミュニティ

- 2020年度 活動報告書 -

-目次-

1. 代表挨拶
2. 理念・活動
3. 活動目的
4. 「きこいろ」由来
5. 活動のあゆみ
6. 運営体制
7. 会員状況
8. 2020度活動実績
9. 会計報告
10. 2021年度について

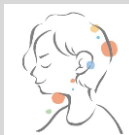


1. 代表挨拶

2019年8月に小さく立ち上げたきこいろの活動は、3期目を迎えました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、思うような活動を行うことができないこともありました。オンラインの利点を活かした活動に力を入れてきました。片耳難聴Cafe（交流会）の開催回数を増やしたり、関心の高いテーマで集まったりと、趣向を凝らした開催の方法ができるようになりました。エリアを問わず沢山の方との繋がりができました。

また、地道にSNSでの発信を続け、メディアに取り上げていただく機会にも恵まれ、昨年度の会員数は300名を超えました。多くの方にきこいろを知っていただくことができました。



1. 代表挨拶

2020年度、きこいろにとっては飛躍の年になったと感じています。

きこいろの活動の柱は、

「1. 情報発信」

「2. コミュニティづくり」

「3. 片耳難聴の啓発」の3つです。

「1. 情報発信」と「2. コミュニティづくり」は、この2年間で基盤ができてつつあります。



1. 代表挨拶

さらに今年度は「3. 片耳難聴の啓発」の活動にも力を入れていきたいと考えています。

でも、焦らずできることからコツコツと。

細くても息の長い活動を、これからも継続していければと思っております。

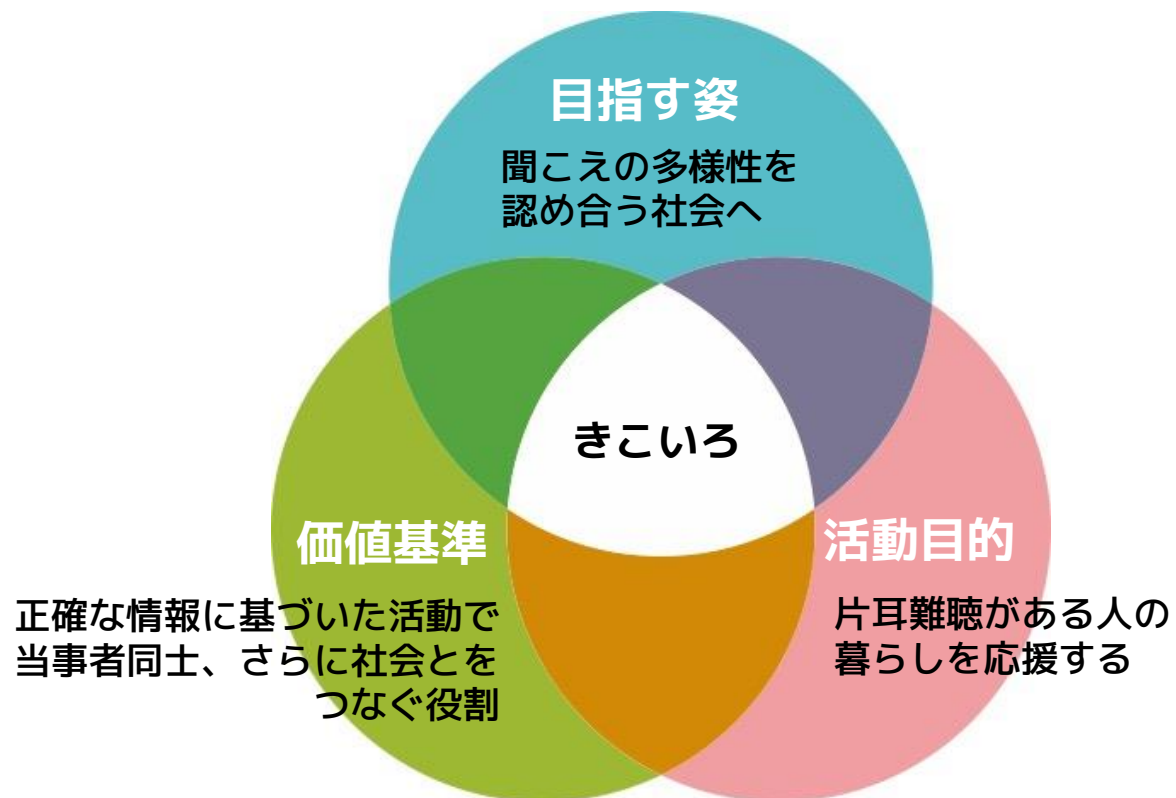
皆さまのご理解ご協力を、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



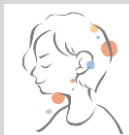
2. 理念・活動

「聞こえ方は、いろいろ」略して「きこいろ」。

聞こえの多様性、人の多様性を認め合える社会のために。



片耳難聴者のQOL（Quality of life：生活・人生の質）向上のための活動を行う。



3.活動の目的

(1)「情報が無い！」で不安になることを減らす

片耳難聴に関する情報発信

(2)「共有できる人がいない」と悩むことを減らす

片耳難聴を持つ人同士のコミュニティづくり

(3)「周りの人に、理解してもらえない」と困ることを減らす

片耳難聴についての啓発活動



4. 「きこいろ」の由来

①

フラットなイメージ

「難聴」「障害」「ハンデ」という言葉の“分かりやすさ”と引換えに、欠陥やマイナスのイメージだけを全面に出すのは抵抗がありました。

かと言って「障害も病も個性、こんなに頑張ってます」、「障害なんて気にしない!」という美談やポジティブ全開のメッセージを発信したいのでもありません。

私たちの中には、ポジティブだけでもネガティブだけでもなく、さまざまな感情が入り交じっています。ただ事実、その一つ一つの体験や感情をまるごと大切にしたい。そのために、中立的なイメージの名称を選びました。

②

「人生色々」「十人十色」×「聞こえ」

山あり谷あり、色々なことが起きるのが人生。片耳難聴も大事な1ピースではあるけれど、片耳難聴だけが特殊なものではないのかも知れません。

片耳難聴はあくまで私の一部です。片耳が聞こえない以外にも色々なバックグラウンドを持っています。

なにより、片耳難聴に限らず、聴覚・感覚の感じ方は人それぞれです。「難聴だからこうだ!」という絶対があるのではなく、聞こえ方・受けとめ方・そのサポートの方法は一樣ではありません。

その人生や個々、片耳難聴に限らない聞こえの特性、そういった「いろいろ」を大切にすることにこそ意味がある、「いろいろ」から出てくるHelpやNeedやHopeを皆さんと一緒に共有し考えたいと思っています。



5.活動のあゆみ

- 2019. 01 ○ 活動の構想を始める
- 02 ○ 「きこいろ」に名称を決定
- 03 ○ 「片耳難聴Cafe」初開催（以後、毎月全国・オンライン開催）
- 08 ○ 任意団体化
- 09 ○ 会員メンバー募集開始
- 10 ○ 「片耳難聴レクチャー」初開催（以後、不定期に全国各地で開催）
- 11 ○ 「きこいろリーフレット」配布開始
- 12 ○ 片耳難聴のポータルサイト公開
- 2020. 03 ○ NHK Eテレ取材放映



5.活動のあゆみ

2020.

05

○ 読売新聞掲載

06

○ きこいろ活動報告会

07

○ Instagramアカウント開設

09

○ 会員メンバー限定Facebookグループ開始

11

○ 「職場向けリーフレット」リニューアル

12

○ 高校保健ニュース掲載

2021.

02

○ 片耳難聴のオリジナルマークをリリース

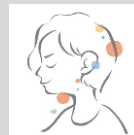
03

○ 「学校向けリーフレット」配布

毎月開催

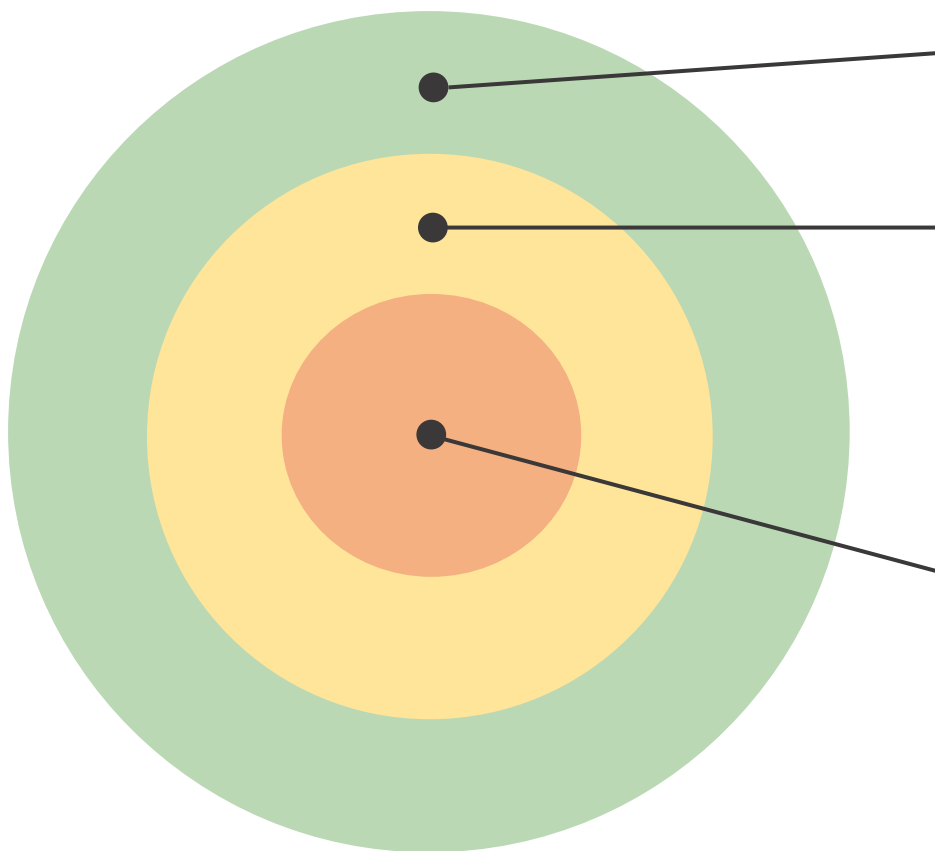
○

片耳難聴Cafeオンライン



6.運営体制

会員メンバーの皆さんの会費により、運営資金を賄っています。
有志のメンバーを中心として運営する非営利のボランティア組織です。



会員メンバー

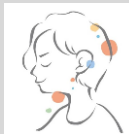
- ・ 賛助会員(59名)：家族・周りの方などの片耳難聴の当事者以外
- ・ 正会員(333名)：片耳難聴の本人

ボランティアメンバー・プロボノ

- ・ ボラメン(22名)：当事者でスポットの活動のお手伝い
- ・ プロボノ(4名)：当事者以外での専門分野のお手伝い

プロジェクトメンバー

医療福祉専門職始め、それぞれのスキル生かし活動全般の運営を担う
(10名)



2020年度 運営メンバー主な役割分担

プロジェクトメンバー

全体のチェック/監修、
専門分野の記事執筆、取材対応

- ・ 代表 岡野
- ・ 副代表 高井

全体の進行関与・チェック、各担当進行

- ・ 瀬川（医療/ご家族系）
- ・ 高木（運営IT係/デバイス系）
- ・ 辻（音楽系）
- ・ みずな（マーク）
- ・ 麻野（事務局）

プロボノ・ボラメンバー

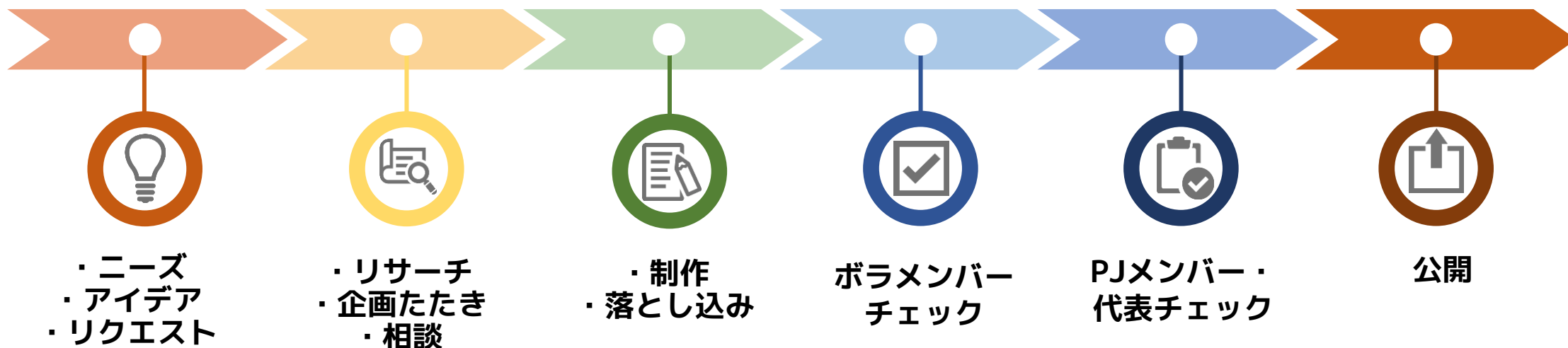
- ・ WEBエンジニア
- ・ デザイナー
- ・ 広報/ディレクター
- ・ 片耳難聴Cafe担当、ファシリ担当
- ・ 会計財務
- ・ 事務アシスタント
- ・ メンバー向けfacebookグループ管理人
- ・ 学生ボラ
- ・ 資料制作
- ・ 文章校正/校閲
- ・ WEB入稿
- ・ インタビュー文字起こし
- ・ 情報リサーチ



運営のイメージ

正確な情報に基づくための専門家のチェックや、
企画などに偏りが生まれないように多様な立場の人がコミット

各企画がリリースされるまでの主なフロー：



会員メンバー以外からも、メールやダイレクトメッセージで
100件以上のお問い合わせがありました。
(活動への質問や、片耳難聴に関する問い合わせなど)

2020年度は新たに、
会員メンバー以外からの声を聞く窓口として
「**お便りフォーム**」を作成しました。

※きこいろでは、メール等での個別の医療的診断治療などのご相談はお受けしていません。



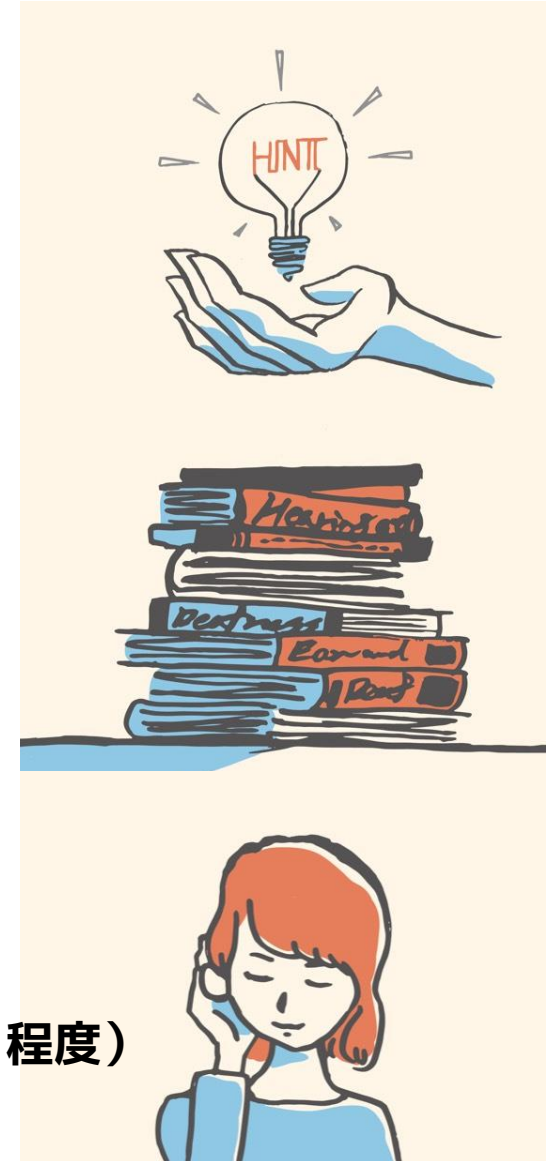
運営のイメージ

チャットツールやオンラインMTGを使い、フルリモートで運営を行った。

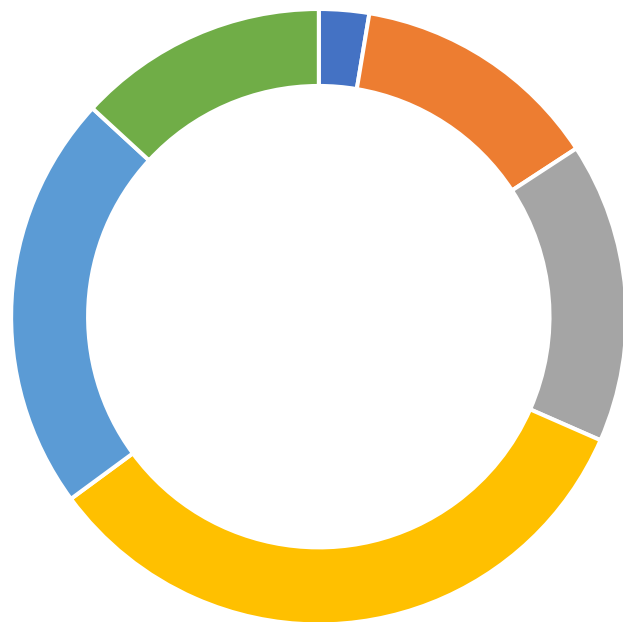
▼運営メンバーMTG等の頻度：

いずれも参加メンバーの任意参加

- ・ 活動報告会：年1回
- ・ 会員メンバーアンケート：随時
- ・ ボランティア説明会：2か月に一回程度
- ・ チャットツールでのコミュニケーション：随時（週1程度）
- ・ ボランティアメンバーMTG：全体 年1～2回、各企画ごと必要に応じて
- ・ プロジェクトメンバーMTG：全体 年1～2回、各企画ごと必要に応じて（月1程度）
- ・ 他担当ごとの進行：週1～月1程度
- ・ 事務局の窓口対応・SNS更新：毎日30分程度

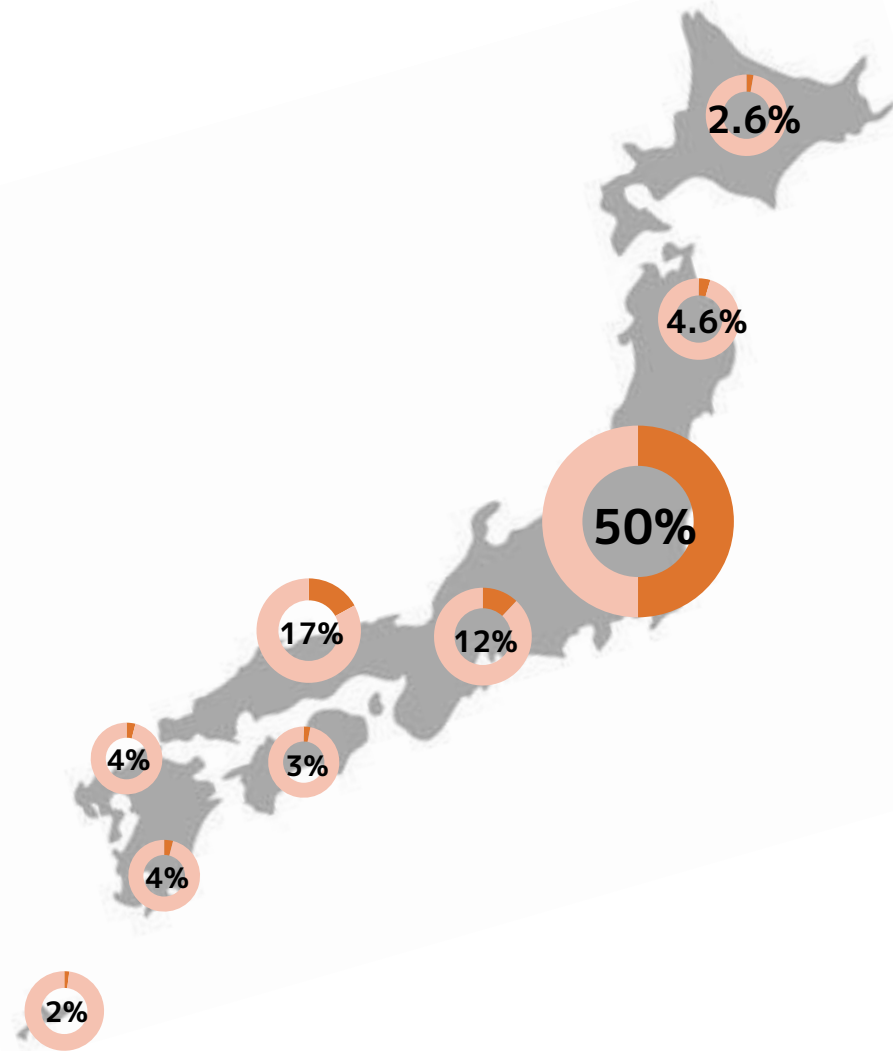


7. 会員メンバー



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

年齢層：
10代～80代までと幅広い。



居住エリア：
関東を中心に北海道～沖縄、
海外在住者もいる。



8. 2020年度 主な活動実績

1. ポータルサイト
2. Twitter更新
3. Instagram開設
4. Facebookグループ開始
5. リーフレット
6. オリジナルマーク
7. メディア掲載・出演
8. 交流会



(1)ポータルサイト

公式ポータルサイト

専門家による正確な情報の提供、多様な当事者のリアルな声を届けるインタビューやコラム。
きこいろの活動報告など。不定期更新。



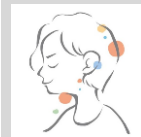
皆さんからの感想

片耳難聴を持つお子さんのご家族
「知りたかったことが知れた」



2021.03時点での実績

- ・ 記事合計数約70 (月1程度更新)
- ・ 累計訪問者数約19万人
- ・ 平均訪問者数300~800人/日



(2)Twitter更新

きこいろ公式Twitter

「片耳難聴を中心に聞こえにまつわる情報や、きこいろWEBサイト更新・イベントなどお知らせ。おおよそ1日~2日1Tweet。

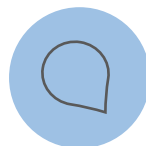
皆さんからの感想

当事者「共感するあるあるや、役立つ情報を楽しみに見ている」

2021.03時点での実績

フォロワー数 昨年1500→2140

最高 いいね数185 RT数60



(3) Instagram開設

メンバー アイデア action!

「Instagramならやっているんだけどな…」
という声から、2020.07～スタート。

きこいろ公式Instagram開設

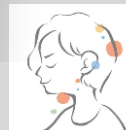
WEBサイトやTwitterと同様に
イベントや記事更新のお知らせ。
2日～1週間など不定期更新。

皆さんからの感想

ご家族「Instagramをきっかけに、
きこいろを知った」

2021.03時点での実績

投稿数120/フォロワー360
最高いいね数200



(4) Facebookグループ開始

メンバー アイデア action!

「もう少し、他の人と繋がる場があるといいな」
といった声から2020.09～スタート。

きこいろFacebookグループ開設

会員メンバーの限定の非公開グループ。
希望者のみ参加。
自己紹介などの相互交流を行う。

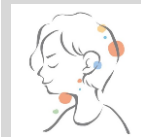
皆さんからの感想

当事者「皆さんと繋がれること
ができて、心強い」

2021.03時点での実績

- ・メンバー70人/リアクション1,148件
- ・投稿58件/コメント277件

※会員メンバー交流の場として、忘年会を初企画した



(5)リーフレット

公式リーフレット作成

片耳難聴を伝え、理解を促進するツールを作成。

年度別の詳細

2020年度作成：

職場向け合理的配慮（リニューアル）、
学校向け対応のヒント

2019年度作成：

片耳難聴の概説・
きこいろの活動紹介、家族向けリーフレット

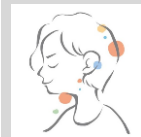
皆さんからの感想

周りの方からは

「具体的で、どうしたらいいかが分かりやすい」

2021.03時点での実績

- ・ 病院や学校、関係機関、企業などへ2000部配布
- ・ WEBページよりダウンロード/リンクフリーで無償配布
- ・ 関係機関からの使用のお問い合わせも頂いた



(6)オリジナルマーク

オリジナルマーク作成

好みで選べる、ファッションツールのようなマーク。
2019年度から検討してきた企画。



2020.10-11



- ・ 公募を行い、難聴の有無を問わず560件以上の作品が寄せられた
 - ・ デザイン関連の学校の授業の一環としての応募者が多かった
- ・ 公募をきっかけに1万以上のWEBサイトへのアクセスがあった
 - ・ 当事者でデザイナーの片耳なんちょーキクチさんともコラボ

2021.02

- ・ 素材ダウンロードの無償提供、第一弾グッズ ステッカーを販売
オーダー数：200アイテム（2021.03末時点）

皆さんからの感想

「マークをきっかけに、
片耳難聴について伝えてみよう和前向きな気持ちになった」



— 関連企画 —

- ①既存のマーク紹介記事作成
- ②職場/学校向けリーフレット作成
- ③「伝える」がテーマの片耳難聴Cafe
- ④セルフアドボカシーの記事作成



(7)メディア掲載・出演

出演目的

より広く・多くの人に正しい情報を届け、
聞こえの多様性を知るきっかけをつくる普及啓発活動。
計8社の新聞社・ネットメディア等にプレスリリースを行った



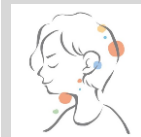
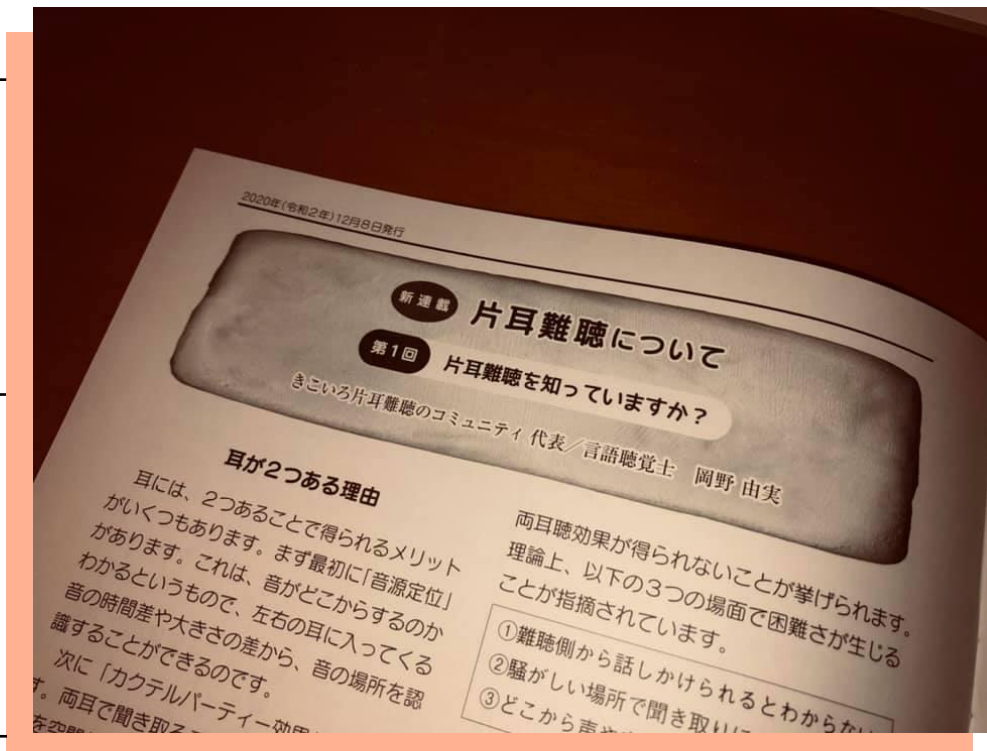
掲載実績

・ 2020.05 読売新聞
2020.12~2021.01 高校保健ニュース
他、企業や研究者、学生などのリサーチ等に代表はじめ、
PJ/ボランティアメンバー・会員メンバーが協力した



皆さんからの感想

周りの人「片耳難聴の聞こえ方について、
理解を深めることができた」



(8)交流会「片耳難聴Cafe」

オンライン交流会開催

新型コロナウイルス感染症流行を鑑み、現地開催を中止。
 オンラインにて、毎回2~4枠に増枠して行った。
 海外~全国各地の10代~80代までの累計約160名が参加。



テーマを設定して開催

①テーマ/対象がフリーの会：幅広く片耳難聴について話す

②テーマ/対象ごとの会：「家族」「学生」「音楽」

「仕事」「後天性」「めまい」「読書会」

進行を運営メンバーが行った。



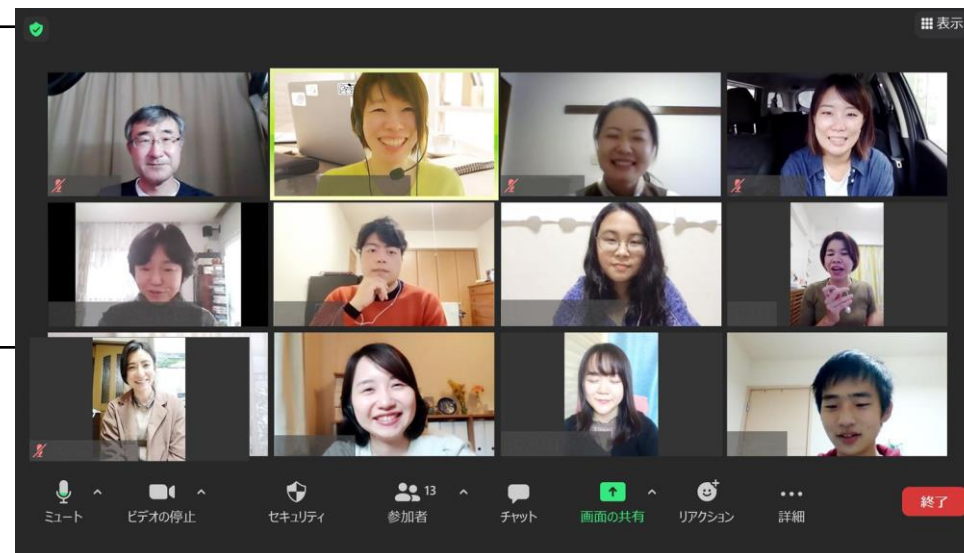
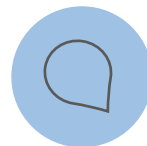
皆さんからの感想

当事者「普段は周りの人と話すことがないので、

片耳難聴について話せてよかった」

お子さんが片耳難聴を持つ親「話したり、他のご家族と

知り合うことで、気持ちが少し楽になった」



片耳難聴を持つ人のしゃべり場
 「片耳難聴Cafe」毎月1回開催。



2020年度会計報告

会費：

持参希望の方など未収金あり。

また、感染症流行の状況を鑑み、支払いの猶予を1年間設けた。

資金調達：

社会情勢の影響を受け、企業協賛金の獲得は困難であった。民間の福祉財団助成金事業の申請が採用された。

2020年度 きこいろ収支報告書

収入		
項目	金額	備考
会費	473,000	(一口1000円/年度~)
雑収入	90,000	木口福祉財団活動助成金
協賛金	20,648	
合計	583,648	
支出		
項目	金額	備考
会議費	22,110	オンライン交流会費Zoomホスト代
外注費	161,253	マーク製作費謝礼
消耗品費	108,832	マークステッカー印刷費、事務用品など
通信費	11,450	公式WEBサイト維持費用、資料・ステッカー郵送費
交通費	660	取材出張費
広告宣伝費	15,444	啓発リーフレット
新聞図書費	1,980	メディア掲載転載利用料
支払手数料	6,659	paypal手数料、振込手数料
合計	328,388	

差引収支(2020年度)	¥255,260
2019年度繰越	¥194,865
合計残高(2021年度予算)	¥450,125



2021年度予算

謝金：

プロボノ・PJメンバー・ボランティアメンバーは、これまで原則、無償で運営を担ってきた。

持続可能で質を担保した安定的な活動を行うため、今年度末の財源より可能な場合に謝金の支払いを検討したい。

資金調達：

引き続き、助成金申請や企業協賛等を行っていく。

収入				
項目	2019年度決算額	2020年度決算額	2021年度予算	2021年度 備考
会費	306,944	473,000	200,000	(一口1000円/年度~×200名分)
企業協賛金	50,000			
交流会費	36,500			
助成金		90,000		
PJメンバー協賛金	110,729	20,648		
繰越金		194,865	450,123	
合計	504,173	778,513	650,123	
支出				
項目	2019年度決算額	2020年度決算額	2021年度予算	2021年度 備考
会議費	42,149	22,110	50,000	オンライン交流会費 Zoomホスト代、会場費
外注費	93,100	161,253		
謝金			100,000	プロボノ・PJメンバー・ボランティアメンバー
消耗品費	10,129	108,832	100,000	事務用品、グッズ製作費など
通信費	3,570	11,450	100,000	公式サイト維持費用、会報郵送料・ステッカー郵送料
交通費	158,820	660	10,000	取材出張費
広告宣伝費		15,444	10,000	啓発リーフレット印刷費
新聞図書費	1,540	1,980	5,000	メディア掲載転載利用料
支払手数料		6,659	10,000	paypal手数料、振込手数料
予備費			50,000	
合計	309,308	328,388	435,000	

2021年度収入	¥650,123
2021年度支出	¥435,000
合計（次年度繰越）	¥225,123



2021年度の計画

2019

○ 当事者への情報と交流機会の提供

2020

○ 当事者以外にも
広く片耳難聴について周知・理解

2021

○ 持続・発展的な活動にチャレンジ

KEEP-継続

- ① Webサイト、SNSによる情報発信
- ② 片耳難聴Cafe（交流会）
- ③ Facebook交流グループ、
メンバー限定交流会
- ④ 片耳難聴オリジナルマークのグッズ販売
（第二弾キーホルダー/バッジ）
- ⑤ メディア掲載

TRY-新たな動きの構想

- ① 希望者へのメルマガの郵送（会報）
- ② レクチャー（勉強会）@オンライン
（当事者や関係者向け・企業研修）
- ③ 他の当事者コミュニティとの交流



2021年度 新たな動き

【1】季刊メルマガの希望者への郵送：会報

情報が得にくい人に、情報を届け、繋がりを届ける

課題

インターネットが中心の情報源。
情報や機会を得にくいゆえに
困り感が増してしまうこともある。
例：インターネット環境がない人、苦手な人
(きこいろの会員メンバーのうち
60代以上は約60人、郵送希望者は約70人)

今後

- ①会報の郵送
定期的に情報を得ることが出来る。
- ②郵送窓口の開設
使いやすい方法で、イベント等への
参加申し込みができる(現地開催時)。

昨年度の実施予定でしたが、会報の郵送を実施する資金や体制づくりに時間を要していました。
2021年度は実現を見込んでいます。まずは、きこいろの会員メンバーから、情報を届け、会報と
いう形での繋がりをつくっていきたいと思っています。



2021年度新たな動き

【2】レクチャー@オンライン（当事者や関係者向け・企業研修）

専門家から正しい知識を学び、適切な理解を促進。そして、当事者の精神的負担を軽減する。

課題

オンラインでの開催を模索していた1年

- ・ **対面で行っていた時と同様にできるか？**

（2019年度は、現地開催を行っていた）

- ・ **ニーズはあるのか？**

（基本的な情報は、
WEBサイトにもすでに記載している）

発展

①オンライン開催を実施

当事者だけでなく、
家族や関係者などに積極的に周知

②企業向けの研修を開拓

一般企業の片耳難聴はじめ
ダイバーシティへの認知度を上げる

当事者からのレクチャー形式での情報ニーズへがあることが分かり、オンラインでも実施を決定しました。また、当事者だけでなく、当事者が働く企業内にダイレクトにリーチし、誰もが働きやすい職場作り（ダイバーシティ研修等）の一環として片耳難聴についても情報を伝達したいと考えています。



2021年度新たな動き

【3】他の当事者コミュニティとの交流

聞こえの様々な特性や、人の様々な背景を知る機会を作る

これまで

会員メンバーの声

片耳難聴の人には会えた

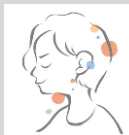


きこいろVision
に向かって

会員メンバーの声

両耳に難聴のある人や、
他の特性を持つ人にも
知り合い理解を深め合う
機会がほしい

3期目となる2021年度は、片耳難聴だけでなく、他の当事者コミュニティ等と連携するなど、様々なバックグラウンドを持つ人がお互いを知り合う機会をつくり、お互いの状況や一人一人をよりリスペクトし合えるようなきっかけをつくりたいと考えています。



ご協力のお願い

安定した活動を継続するため、皆様のお力添えをどうぞよろしく申し上げます。

**きこいろは、会員の皆さんからの会費によって運営を行っています。
活動にご賛同下さる方は、ぜひご協力ください。**

入会のご案内
1口1000円より~/年度
<https://kikoiro.com/join/>



企業行政・団体さまからのご寄付や、取材依頼、協働、研修の受託などのご協力をくださる場合は、お気軽にお声掛けください。

企業団体さまのお問い合わせ
<https://kikoiro.com/cooperation/>

